

2024年10月31日

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

## MUFG「KOGEI ARTISTS LEAGUE」開催決定

～「MUFG工芸プロジェクト」で、次世代の工芸文化・技術を担う若き作り手を支援する仕組みを  
立ち上げ世界で活躍する注目の工芸作家13名をサポートに迎え、MUFGが新たな挑戦～

(募集期間：2024年12月2日(月)～2025年1月10日(金)17時)

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ(代表執行役社長 <sup>かめざわ ひろのり</sup> 亀澤 宏規、以下MUFG)は、パーパス「世界が進むチカラになる。」の実現に向けて取り組む、工芸の伝統と革新を支援する「MUFG工芸プロジェクト」の一環として、若手工芸作家の作品展示・販売機会等を支援する「KOGEI ARTISTS LEAGUE」を開催いたします。

MUFGは、日本の伝統的な工芸の文化や技術の継承に寄り添い、そこから変化の時代に必要なイノベーションを学び発信することを目的に、東京藝術大学の秋元雄史名誉教授を総合監修に迎え、「MUFG工芸プロジェクト」を始動しました。支援を行う中で、作り手の方々が作品発表・販売を行える機会が少ないという課題に直面しました。そのため、プロジェクト2年目を迎える今年は、若手作家を対象に作品づくりにおける革新や、展示・販売等を支援するプロジェクト「KOGEI ARTISTS LEAGUE」を開催する運びとなりました。



「KOGEI ARTISTS LEAGUE」は、第一弾として関東甲信越・北陸地区の若手作家に対し、2024年12月2日(月)～2025年1月10日(金)の期間中に作品のエントリーを受け付けます。最終選考を経て選出された約20名(予定)のファイナリストには、2025年8月に東京・日本橋三越本店で開催を予定する展示販売会へ参加する機会と奨励金20万円等を提供いたします。

### ※「KOGEI ARTISTS LEAGUE」特設サイト

「KOGEI ARTISTS LEAGUE」には総合監修の秋元雄史東京藝術大学名誉教授をはじめ、「LVMHメディアエダール」パリショールームオープン記念特別展へ出展した中川木工芸比良工房 中川周士氏や、「伝統と革新」を併せ持つ作品を生み出す竹工芸家 四代田辺竹雲齋氏など、工芸の 카테고리を横断して世界で活躍する工芸作家13名がサポーターとして選考や交流会に参加し、若手作家たちの創作活動を支援します(下記に作家情報あり)。さらに、東京展示販売会初日には全サポーターが参加(予定)、サポーターの作品展示・販売も実施いたします。

MUFGは日本を起点に世界で活躍する金融グループとして、工芸ひいてはものづくりの担い手の方々に革新のための挑戦の機会を創出しながら、その努力やそこから生まれる新しい価値や魅力をより多くの人に伝えていきます。

### ■KOGEI ARTISTS LEAGUE サポーター代表/MUFG工芸プロジェクト総合監修

東京藝術大学名誉教授 秋元雄史氏より



KOGEI ARTISTS LEAGUE に参加する皆さんへ

自分の中にある想像力を最大限に生かして、自分が考えるものづくりや工芸の頂点を作品を通してぜひ見せてください。新しい時代の才能とそこから生まれるクリエイティブな説得力を肌で直に感じてみたい。新しさをぜひ感じたい。

<報道関係 問い合わせ先>

MUFG 工芸プロジェクト「KOGEI ARTISTS LEAGUE」PR 事務局（株式会社オズマピーアール内）

担当：五十嵐、伊藤 E-mail：mufg-kogei-pr@ozma.co.jp

以 上

## ■MUFG 工芸プロジェクト「KOGEI ARTISTS LEAGUE」開催概要

### ・対象：

関東甲信越・北陸の美術大学3年生以上（2年制大学は最終学年）および、大学院・研修所・研究所で学ぶ作り手と、2025年3月時点で修了後3年まで（2024年、2023年、2022年3月修了）の方。個人またはグループ。※次回以降、募集対象の拡大も検討。

### ・選考フロー

#### ◆応募登録：

2024年12月2日（月）～2025年1月10日（金）17時  
本事業 Web サイトの応募フォームに記入して応募を行ってください。

#### ◆1次選考：

2025年1～3月 総合監修秋元雄史氏、及び、サポーターが書類選考を実施  
応募者の中から数十名程度を選出

#### ◆最終選考：

2025年3月下旬 東京で行う選考会にて、サポーターに対して作品のプレゼンテーションを実施  
1次選考通過者の中から20名程度をファイナリストとして選出

#### ◆展示内覧会／展示販売会：

都内にてファイナリストによる展示内覧会（2025年8月19日（火）予定）、  
展示販売会（2025年8月20日（水）～25日（月）予定）を実施

### ・提出：

2024年12月2日（月）～2025年1月10日（火）17時の期間中、作品1点または、  
1シリーズを12月2日（月）開設の応募フォームより提出

※応募条件の詳細・留意事項に関しては、12月2日（月）開設の応募フォームよりご確認ください

※MUFG「KOGEI ARTISTS LEAGUE」進捗は、公式 Instagram にて随時発信予定ですので、  
ぜひご覧ください。

[MUFG 工芸プロジェクト \(mufg\\_kogei\\_official\) 公式 Instagram](#)



公式 Instagram

## ■「MUFG 工芸プロジェクト」について

MUFG は、パーパス「世界が進むチカラになる。」の実現に向けて、社会、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題に徹底的に向き合い、その解決に取り組んでいます。そのパーパスの一環として、工芸文化、産業の発展と作り手・使い手双方を応援するイベントやセミナーの開催など、様々な試みを行っております。

※ [「MUFG 工芸プロジェクト」活動内容](#)



## ■MUFG 工芸プロジェクト「KOGEI ARTISTS LEAGUE」サポーター

### ・【漆彫刻家／金沢美術工芸大学工芸科 漆・木工コース准教授】青木 千絵氏



青木 千絵 作  
「BODY22-2 -生命の記憶-」

人間の存在をテーマに、等身大の身体と抽象形態を融合した漆作品を制作。主な展覧会に『ジャンルレス工芸』（国立工芸館、2022）、『六本木クロッシング2022 展:往来オーライ!』（森美術館、2022）。作品は徳島県立美術館、ミネアポリス美術館、ヴィクトリア&アルバート博物館、金沢 21 世紀美術館、国立工芸館などに収蔵。

<応募者の皆様へ>

作品に向かう熱意は、必ず人の心を動かします。全ての人に受け入れられる作品より、誰かの心に突き刺さる作品を。これまで見たことのない世界を感じさせてくれる瞬間に出会えることを期待しています。

### ・【画家／工芸家】上出 恵悟氏



上出 恵悟 作  
「甘蕉 房 色絵椿文」

1981 年石川県生まれ、2006 年東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻卒業。同年より、1879 年創業の九谷焼窯元の後継者として伝統を引き継ぐ。2013 年合同会社上出瓷藝設立。個人作家としても活動。

<応募者の皆様へ>

一言で工芸と言っても、伝統や地域性、実用性、芸術性など様々な側面がありますが、常に新しい技術や素材、思想を取り入れ、社会に訴える力を持つものだと思います。現代における工芸の可能性をぜひ見せてください。

### ・【アーティスト】桑田 卓郎氏



桑田 卓郎 作  
「赤化粧金彩点滴石爆壺」

1981 年広島県生まれ。2021 年京都嵯峨芸術大学短期大学部美術学科陶芸コース卒業、2002 年陶芸家の財満進氏に師事。2007 年多治見市陶磁器意匠研究所修了。ニューヨーク、ブリュッセル、ロンドンなど世界各地で展覧会を開催。

<応募者の皆様へ>

あなたが制作に向き合い見つけた感動を見ること、未来に繋がる新しい工芸との出会いを楽しみにしています。

Photo by Koho Kotake

### ・【美術家／ガラス作家】佐々木 類氏



佐々木 類 作  
「植物の記憶 / Subtle Intimacy  
2012-2023」  
Photo by Nik van der Giesen  
金沢 21 世紀美術館蔵

1984 年高知県生まれ茨城県育ち。石川県を拠点に制作。身近にある自然や生活環境にインスピレーションを得ながら、主に保存や記録が可能な素材であるガラスを用い、自分が存在する場所で知覚した「微かな懐かしさ」のありようを探求している。コーニングガラス美術館(アメリカ)、ラトビア国立美術館、金沢 21 世紀美術館など作品収蔵多数。

<応募者の皆様へ>

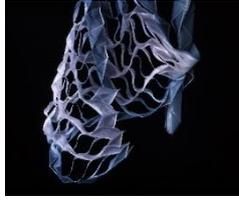
近年、急速に多様化している工芸や美術の世界と一緒に模索・探求できればと思います。まずは、応募することで一歩が始まります。多くの方のご応募をお待ちしています。

Photo by Hanmi Meyer  
Image Courtesy of  
Bullseye Glass Co.

・【テキスタイルデザイナー】須藤 玲子氏



Photo by Masayuki Hayashi



須藤 玲子 作  
「たなばた」  
Photo by Sue McNab

茨城県石岡市生まれ。株式会社布デザインディレクター。東京造形大学名誉教授。2008年より良品計画、山形県鶴岡織物工業協同組合他のテキスタイルデザインアドバイスを手がけ、2016年より株式会社良品計画アドバイザーボード。作品はニューヨーク近代美術館、ロサンゼルス州立美術館、ヴィクトリア&アルバート博物館他に永久保存。

<応募者の皆様へ>

創造的アプローチは多様だと思います。技術に関して優れた専門知識があること、持続可能性への強いコミットメントがあること、新しい技術を受け入れる柔軟性があること、伝統的な形態にこだわりすぎないことなどを、私は気にかけています。各分野において、独自のスキルを使い、手工芸的な表現を用いた作品の登場に期待しています。

・【現代美術家】舘鼻 則孝氏



Photo by GION



舘鼻 則孝 作  
「ヒールレスシューズ」  
Photo by GION

東京都生まれ。東京藝術大学美術学部工芸科染織専攻卒。代表作のヒールレスシューズから絵画作品、文楽公演など創作は多岐に渡る。創作活動の概念として「Rethink」を掲げ、伝統工芸技法を現代的に活用した作品を多数制作している。

<応募者の皆様へ>

現代に活動する作家の価値観で、ものづくりに取り組むことが大切だと思います。伝統的な素材や技法を活用し、創作活動を通して現代へ継承することが作品を制作する意義になります。伝統と革新が交錯するような新しい表現に期待しています。

・【竹工芸家/Artist】四代田辺竹雲斎氏



Photo by Tadayuki Minamoto



四代田辺竹雲斎 作  
「WORMHOLE」  
Photo by Tadayuki Minamoto

東京藝術大学美術学部彫刻科卒業後、父である三代竹雲斎に師事。2017年四代田辺竹雲斎を襲名。用途に即した花籃など代々の技術を受け継いだ作品を制作する一方で、インスタレーションや現代的なオブジェを制作。

<応募者の皆様へ>

今までにない新しい挑戦を感じられる作品、未来に可能性を広げることのできる作品を期待しています！！どんな作品が見られるのかを楽しみにしています。

・【kanakeno】田山 貴紘氏



田山 貴紘 作  
「あかいりんご」

鉄器職人兼 kanakeno 代表。kanakeno では「寂びると遊ぶ」をコンセプトに、工芸の生態系を創造する公園内のギャラリー「SUNABA」、持続可能な若手職人育成の仕組み「あかいりんごプロジェクト」などをプロデュース。

<応募者の皆様へ>

才能ある若い力が、見出されることによって次の時代を創っていくと信じています。とても楽しみにしています。

・【中川木工芸比良工房 主宰】中川 周士氏



中川 周士 作  
「WAVE」

中川木工芸比良工房を主宰、京都の伝統的な木桶工房の三代目、父清司(人間国宝)に師事。大学でコンテンポラリーアートを学び、木桶製作技法とアートやデザイン、建築などと融合させて新しい木桶の製作に挑戦し木桶を未来につなぐ活動をしている。

<応募者の皆様へ>

私は作品を作ることは科学の実験みたいなものだと考えています。実験に失敗は付き物です。失敗を恐れては何も始まらない。挑戦することにより革新は生まれます。まだ見ぬ世界を見てみたい、粗削りでもいい、エネルギーに溢れる作品を期待します。

・【漆芸作家】中田 真裕氏



中田 真裕 作  
「Gaia」  
Photo by ア・ライトハウス・カナタ

1982年北海道生まれ、29歳の時に香川漆芸に出会い伝統技法「蒔髹(きんま)」(漆の表面を刃物で彫り色漆を埋めて研ぎ出す加飾技法)を用いて、両手を広げたサイズまでの作品を制作している。記憶の中で熱を帯びた景色を描き、時代を超えて観る人の心を揺らすことを願う。

<応募者の皆様へ>

私が大学生でダンスをしているときは、アーティストを仕事にできるなんて思いもよらなかった。創造する事で自分も人も喜ばすことができる最高の夢だ。今、手を動かしているあなたに拍手喝采。

・【人形師】中村 弘峰氏



Photo by Kazuo Matsumoto



中村 弘峰 作  
「黄金時代」

人形師の家系の四代目として生まれ、東京藝術大学大学院を修了後、家業を引き継ぎながら「もしも江戸時代の人形師が現代にタイムスリップしたら?」という視点から縦横無尽な作品を展開し国内外で発表を続けている。

<応募者の皆様へ>

人と自然がこれから手を取り合って行かねばならない時代において、工芸は世界にそのヒントを与えることができると考えています。僕もまだ見ぬ、そういうヒントを持っている若き才能に出会えることを心から楽しみにしています。

・【株式会社 細尾】細尾 真孝氏



細尾 真孝 作  
「HOSOO Textile Collection  
Abstract」  
「HOSOO Cushion New York」

株式会社細尾 代表取締役社長。元禄元年(1688年)より織物業を営む西陣織の老舗、細尾家に生まれる。大学卒業後、音楽活動、大手ジュエリーメーカーでの勤務を経て2008年、細尾に入社。西陣織の技術・素材をベースにしたテキスタイルをディオール、シャネルの店舗に提供するなど、世界のトップメゾンクライアントを持つ。2021年著書「日本の美意識で世界初に挑む」をダイヤモンド社より上梓。

<応募者の皆様へ>

工芸の可能性は無限です。皆さんと共に、その魅力を未来へ繋ぎ、次世代へ受け継いでいきたいと考えています。

・【陶芸家/美術作家/九谷焼作家】牟田 陽日氏



牟田 陽日 作  
「山入り」

1981年東京都渋谷区生まれ。2008年ロンドン、ゴールドスミスカレッジ、ファインアート科卒業。2012年石川県立九谷焼技術研修所卒業。現在、石川県能美市にて工房兼住居を構える。陶磁器に彩色を施す色絵の技法を主軸に、日常的な食器、茶器などの美術工芸品からアートワークまで多岐に渡り制作。現代の自然に対する意識の在りようをテーマに、動植物、神獣、古典図案等を再構成し色絵磁器に起こしている。日本の美感、工芸、アートの間を相互に交信するような作品制作を目標とする。

<応募者の皆様へ>

学外で作品や制作姿勢について他者を交えて話せるのはなかなか稀な機会です。自分が今手を動かしていることはどういったもの、ことなのか、それぞれの観点から見合うことによって相互的に気づきが得られるかもしれません。是非、自分の制作を体現するような作品を見せてください。